



Yusuke Uchiyama <yusuke.ucla@gmail.com>

[Isetr 177] [海洋放射能汚染緊急対応予測モデルに関するワークショップ]5月22日福島大学のお知らせ

Michio AOYAMA <r706@ipc.fukushima-u.ac.jp>

Fri, May 1, 2015 at 4:03 PM

To: isetr@ied.tsukuba.ac.jp

ISET-Rの皆様

下記示すように、住友財団環境助成金を受けた升本さんのプロジェクトのworkshopを福島大学を会場として行います。ご参加をお待ちします。

あおやま

海洋放射能汚染緊急対応予測モデルに関するワークショップ

日時：2015年5月22日（金）13:00-17:30

場所：福島大学 共生システム理工学類後援募金記念棟

<http://www.fukushima-u.ac.jp/guidance/campusmap/index.html> 建物番号4 1)

趣旨：

2011年3月11日に発生した東日本大震災に伴い、福島第一原子力発電所から放射 性物質が海洋環境へと流出したことは記憶に新しい。この時、海洋環境へと入った放射性物質がどのように広がるかの状況把握、あるいは予測 のための数値モデルシステムは現業運用されておらず、多くの研究者が暫定的に対応することとなった。

日本は四方を海洋に囲まれ、その流れも複雑である。汚染源の場 所や海洋へ流入するタイミングによって、広がり方に大きな違いが現れる可能性が大きい。そこで、住友財団環境助成金の補助を受け、特徴的な海洋流動場を持つ複数の場所を対象として、数値モデルによる海洋分散過程の理解と予測のために必要なモデルの構成や特性について、緊急 時対応のシステム構築の視点から検討することを目的としたプロジェクトを実施している。

本ワークショップでは、伊方と浜岡を対象としたモデル結果を持ち寄り、結果 の比較を通じて、上記のプロジェクトの目的を達成するための議論と検討を行う。

プログラム：

13:00-13:10 趣旨説明（升本 順夫／東大）

13:10-13:50 瀬戸内海の流動場と海洋拡散シミュレーション手法の構築（郭 新字／愛媛大）

13:50-14:30 原子力発電所からの放射性物質の漏洩を想定した海洋拡散シミュレーション手法の構築 (1)－瀬戸内海モデル－（津旨 大輔／電中研）

14:30-15:10 原子力発電所からの放射性物質の漏洩を想定した海洋拡散シミュレーション手法の構築 (2) - 関東・東海モデル - (宮澤 泰正/JAMSTEC)

15:10-15:30 休憩

15:30-16:10 原子力発電所からの放射性物質の漏洩を想定した海洋拡散シミュレーション手法の構築 (3) - 瀬戸内海, 関東・東海, 東北沿岸モデルの比較 - (内山 雄介/神戸大)

16:10-16:20 ステークホルダーとの対話 (池田 元美/JAMSTEC)

16:30-17:30 議論と検討

(迷子防止のための福島大学問い合わせ先: 環境放射能研究所 青山研究室 024-504-2882)

Isetr mailing list

Isetr@ied.tsukuba.ac.jp

<https://www.ied.tsukuba.ac.jp:8443/MLConf/listinfo/isetr>